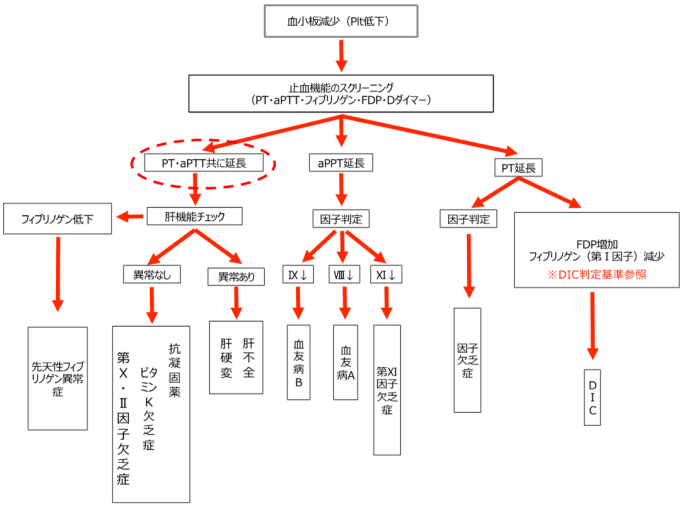
評価のポイント

CL-1.看護実践能力：ニーズをとらえる力
［19-1.4］検査データの判読③（凝固）

70歳男性。飲酒後に吐血をしたため来院。意識レベルは清明でバイタルサインは正常である。
このデータから判断される病状はなにか。また、この患者のケアについて考えなさい。

	値	単位
WBC	15000↑	/μL
RBC	500	×10⁴/μL
Hb	10↓	g/dL
Ht	40	%
MCV	80	fL
MCH	28	pg
MCHC	32	%
Ret	1	%
Plt	7.2↓	×10⁴/μL
Lymph	28	%
Mono	5	%
Neut	66	%
Eos	0.1	%
Baso	0	%

PT	19.8↑	秒
PT-INR	1.8	
aPTT	85.6↑	秒
Fib	280	mg/dL
FDP	11.2↑	μg/mL



図は、配布資料26参照。
WBCの上昇、Pltの低下がある。
WBCの分画ではNeutが優位になっている。
Pltの低下から凝固時間はPT、aPTT共に延長している。
肝機能のデータはなく、Fibの低下はない。
FDPは増加している。

結論
肝機能の確認が必要であり、肝不全の症状の確認が必要である。また、DICが重症化した場合、PTとaPTTが共に延長するため、DICを誘発させる疾患の有無の確認が必要である。